業務用洗濯脱水機
／電気乾燥機

設置・施工手順書

Miele PROFESSIONAL

■設置手順

設置は下のフローに示すステップに従って行ないます。順を追って必要な設備、加工作業を進めてください。

STEP 1	→	STEP 2	→	STEP 3	→	STEP 4
設置床の確認 （床の補強）		給排水設備 電源設備		本体の設置 所要設備との接続		2段積みの設置

■設置上の注意点

- 電源・給排水は所定の位置に設備します。
- 機器を設置する床はコンクリートスラブ、もしくは根太により頑丈に補強してください。（本体の重量、および運転時の荷重対応）
- 設置床面は水平・平坦にし、後で本体を手前にひきだせるようにしておいてください。
- 凍結の恐れがある場所（室温0℃以下）には設置しないでください。
- 乾燥機PT7135Cには必ず排水口を設けてください。
- 乾燥機PT7136には必ず排気ダクトを設けてください。

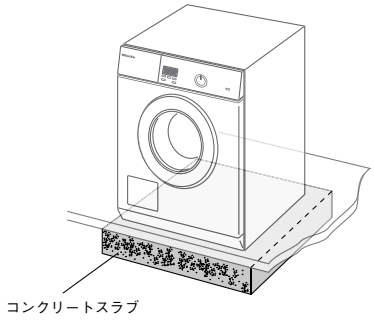
■同梱部材リスト（本体）

※機種により梱包されている部材が異なります。施工前に部品の確認をしてください。

洗濯脱水機 PW5065	Y字分岐管	ホース アダプター ×2	ドア オープナー	ブラケット	取扱説明書

電気乾燥機	ドア オープナー	ホース ガイド	排気 アダプター	取扱説明書
PT7135C	○	○		○
PT7136	○		○	○

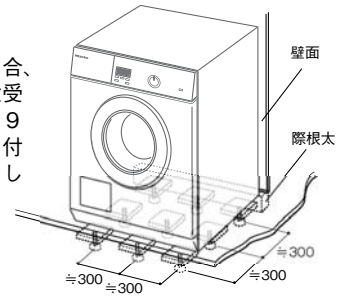
STEP 1 設置床の確認／床の補強／輸送用固定部品の取り外し



洗濯機を設置する床は、床下が直接コンクリートスラブに密着しているか確認してください。
ユニットフロアなど、床下に空間がある場合は、設置する部分をコンクリートによって補強してください。

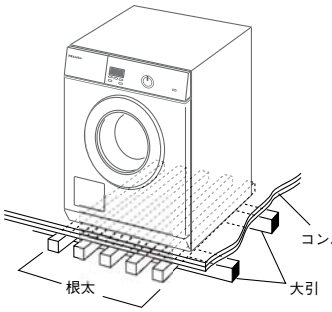
■置床の場合

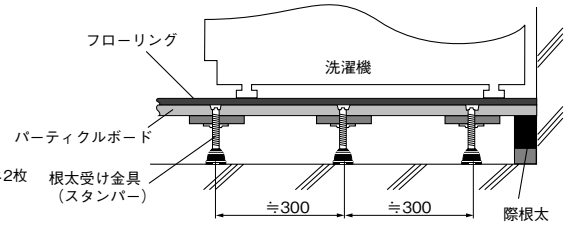
マンションなどの置床の場合、機械を設置する床下を、根太受け金具（フリースタンパー）9本で補強します。金具の取り付け位置は、概ね右図を参考にしてください。



■木造床下を補強する場合

直接コンクリートで補強するのが困難な場合、右図のように根太5～6本+コンパネ2枚張で補強してください。この時、本体の脚真下に根太がくるようにしてください。



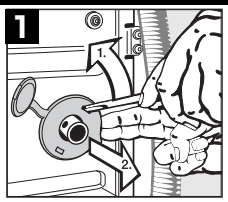


■参考　置床・根太受け金具　株式会社 工研技術
（03-3878-1566） WP型ロングタイプ相当品

⚠重要 輸送用固定部品の取り外し

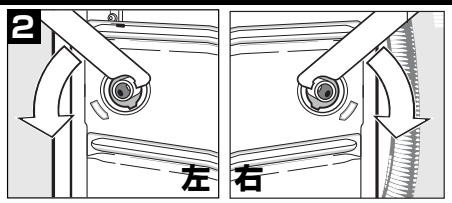
●洗濯機は輸送・運搬のために洗浄ドラムを固定してあります。
設置前に必ず、この輸送用固定部品を取り外してください。
●輸送用固定部品なしで本体を運搬しないでください。

1



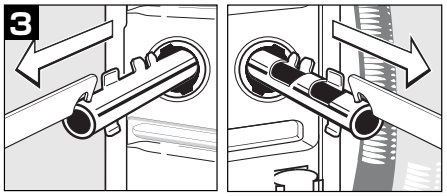
マイナスドライバーなどを使って、固定金具のカバーを手前に引き出し、取り外します。

2



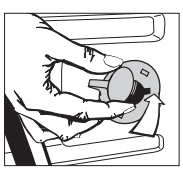
同梱のレンチを使って固定金具90°回してゆるめます。
右:時計方向
左:反時計方向

3



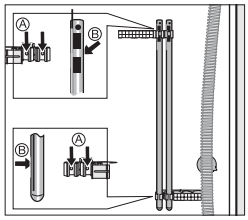
レンチのカギ部分を使って金具を手前に引き出します。

4



目隠しカバーをはめこみます。
取り外した固定金具は、背面の保管用フックに固定しておいて下さい。

5

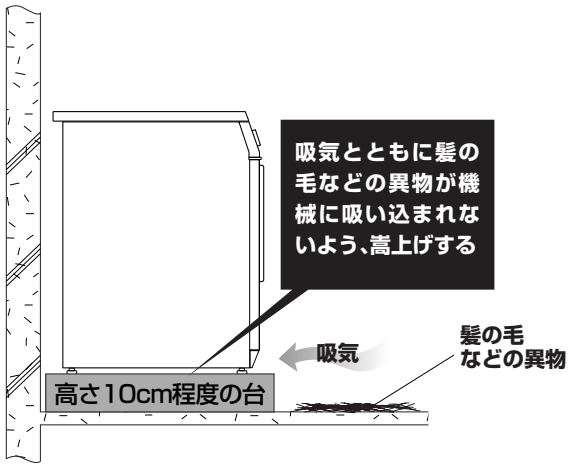


STEP 2 キャビネット開口／給水、給湯、排水設備および電源設備

⚠重要 乾燥機設置上の注意

⚠ ヘアサロン等での使用

乾燥機は両機種とも室内の空気を吸い込みます。ヘア・サロン様などでご使用いただく場合には、床に落ちた髪の毛などを機械が吸い込まないよう、床に直置きせず最低限、高さ10cm程度の台の上に設置してください。

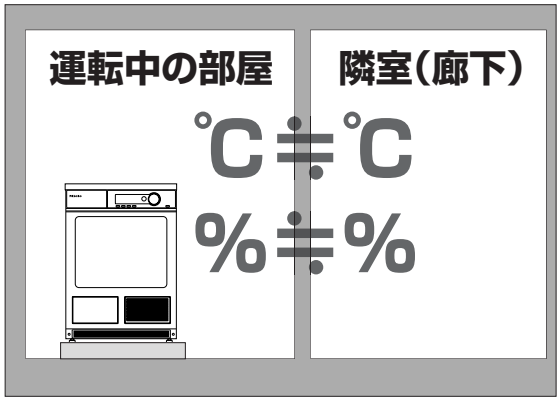


⚠ 使用環境の維持について

乾燥機は、両機種とも室内の換気には充分ご配慮ください。換気効果のわかりやすい目安としては、乾燥機運転中の室内の環境が、隣室や廊下などと同じ温度、同じ湿度を保つようにして下さい。

室温が35℃を超えると乾燥効率が極端に落ち込み、故障の原因となります。

室温と湿度



■施工上の注意

1. ミーレの洗濯機は全てポンプによる強制自動排水方式です。
   排水管は必ず200mm以上立ち上げてください。
   （排水ポンプの揚程は1mです。）

2. 給水バルブはユーザーが容易に操作できるような向きで取り付けてください。

3. 給水：作動水圧1.0～10Kg/cm^2

4. 電源は単相200V 20Aの専用コンセントとし、必ず所定の位置に設けてください。
   コンセントの形状 （松下WN1932）
   ●アース工事は必ず行ってください。(第3種接地工事)

5. 排水管は耐熱塩ビを使用してください。
   ●HT40相当品

⚠ 給排水工事はすべて水道法、建築基準法、および各都市の条例、規定に準じて行なってください。

⚠ 乾燥機PT7135Cには排水口が必要です。必ず、排水設備を設けてください。

■設置上の注意

■電源工事および接地工事

・電源工事や接地工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規定」に準じて行なってください。
・電源コードを切断し、直結することは絶対にしないでください。

■設置について

・凍結の恐れがある場所（室温0℃以下）へは設置しないでください。
・設置床面は水平、平坦にし、後で本体を手前に引き出せるようにしておいてください。
・洗濯機を設置する床は、本体重量プラス水と洗濯物および脱水時の荷重に耐えられるよう、水平で丈夫な床にしてください。
（P1の図をご参照ください。）

■給水、給湯、排水について

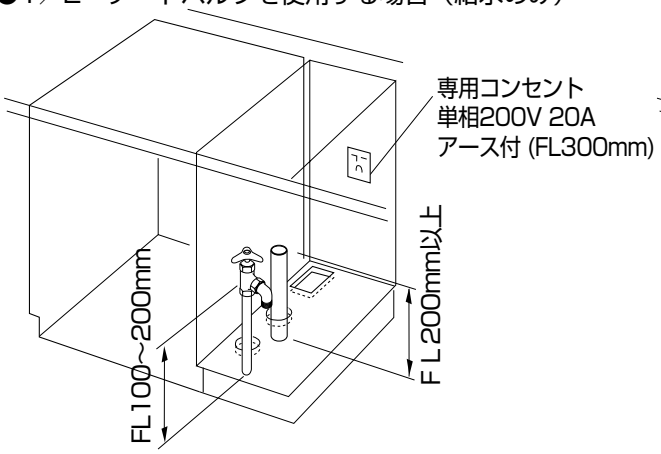
・止水栓は必ずお客様の操作しやすい位置に取り付けてください。
・洗濯機には給水給湯接続ができます。
※但し、給湯温度は60℃以下です。
※乾燥機PT7135Cにも排水設備が必要です。

※施工手順、設置上不明な点や問題点、設置する機器に不具合を発見されたときは、お手数ですが弊社までお問い合わせください。

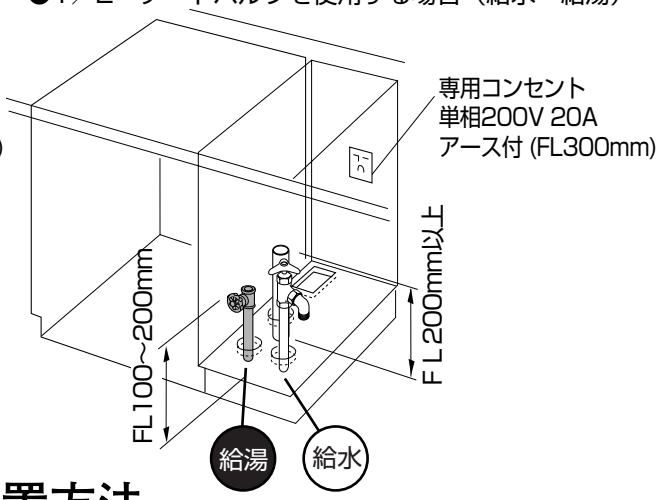
■給・排水管の立ち上げ

●ミーレの洗濯機はポンプによる強制排水方式です。排水管は必ず指定の高さに立ち上げてください。

●1／2”ゲートバルブを使用する場合（給水のみ）



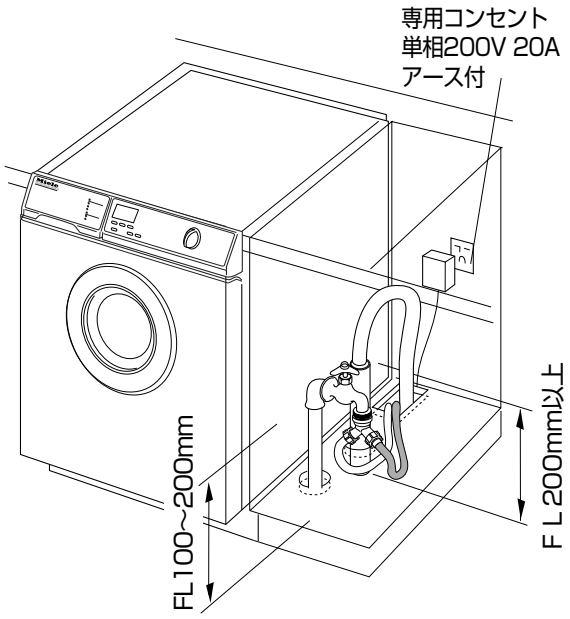
●1／2”ゲートバルブを使用する場合（給水・給湯）



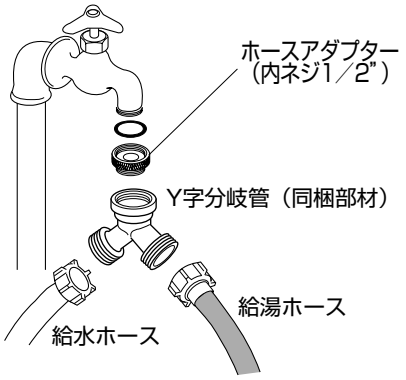
STEP 3 所要設備との接続／設置方法

■給・排水管との接続

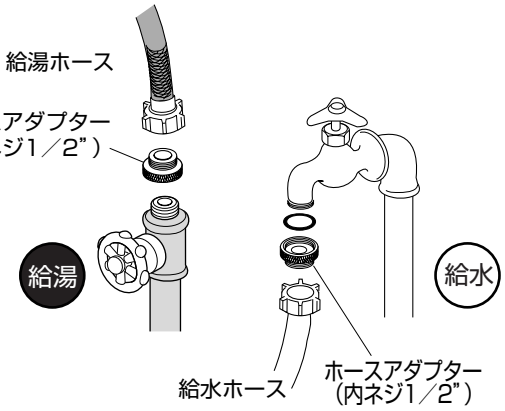
給水ホース、排水ホース、および電源コードを台輪開口部から引き込みながら本体をカウンターに押し込みます。



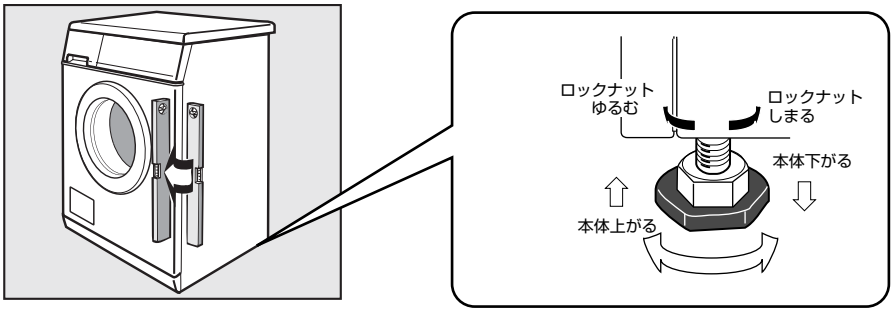
●1/2"カップリング付横水栓を使用する場合



●給水・給湯両方の設備がある場合



■洗濯機及び乾燥機本体の水平だし

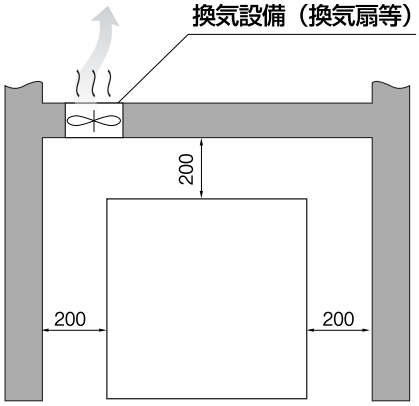


●洗濯機本体の水平がでていないと脱水時の振動や異音の原因になる場合があります。本体4箇所のアジャスタ脚で高さを調整し、水平器で水平確認してください。

●また調整後は必ずロックナットを締めておいてください。

手順 5　設置方法

■乾燥機周辺の壁（他の機材等も含む）からの距離



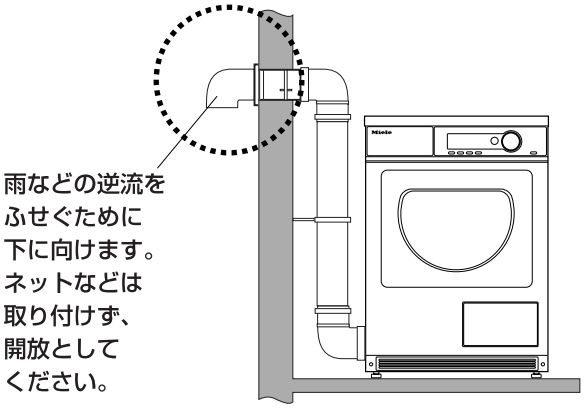
●コンデンサタイプ乾燥機

⚠ 重要　機械周辺のクリアランス

コンデンサ方式乾燥機PT7135Cには機械のまわりの換気が必要です。

⚠ 温風が溜まり、故障の原因となります。

左記のような囲まれた場所に設置する場合は、壁から200mm以上離し、必ず換気設備を設けてください。



●ダクトタイプ乾燥機

⚠ 一次配管排気口の注意点

ダクト式乾燥機PT7136のダクト配管には、「詰り」を防ぐ為防虫網などは取り付けず、開放のまま下に向けてください。

■ダクトタイプ乾燥機の所要設備

乾燥機から出される排気には、ダクト内壁を通過する際に摩擦の負荷がかかります。L字曲線、カーブ、逆止めフラップや壁ベントなどの部品は、直管のダクトよりも摩擦が大きくなりますので、表1の摩擦係数を参考に有効ダクト長さを計算してください。
有効長さが算出されましたら、表2を参考に、ダクトの内径を決定してください。

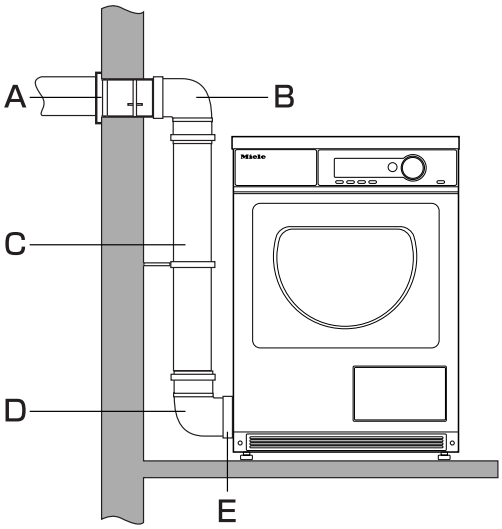


表1

構成部品	ダクト長さ係数
金属管／アルミニウム蛇腹管	
-1mの真っ直ぐなパイプ	1.0m
-45°角（L字：曲り半径=0.25m）	0.6m
-90°角（L字：曲り半径=0.25m）	0.8m
通気ダクトに組み込まれた逆止めフラップ	14.3m
本体の左右いずれかの排気口に接続する場合	1.0m

表2

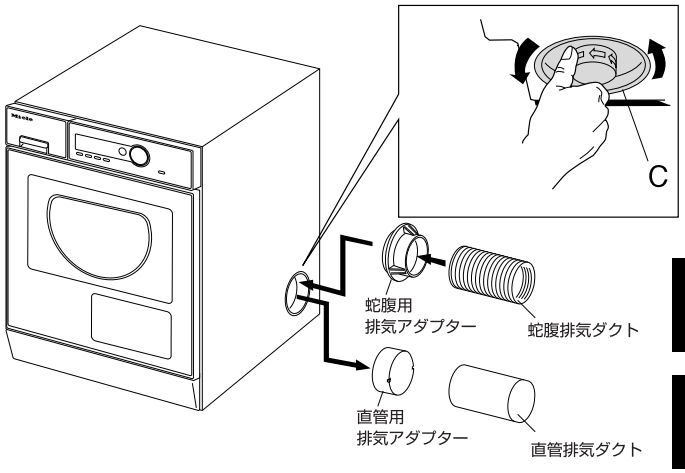
必要なダクト内径	有効ダクト長の最大許容値
-100mm	20m
-125mm	40m
-150mm	80m

計算例

A	壁パイプ、ルーバーベント （1×3.8m追加ダクト長さ）	=3.8m
B/D	2つのカーブ　90° （2×0.8m追加ダクト長さ）	=1.6m
C	0.5m直管（金属管） （0.5×1.0mダクト長さ）	=0.5m
E	サイド接続（左） （1.8m追加ダクト長さ）	=1.0m
	有効ダクト長さ	=6.9m

手順 5　設置方法

■排気ダクトの接続



排気ダクトの接続孔（排気口）は本体の左右と背面にあります。図のように、示されている矢印の方向に回してカバー（C）を外し、同梱されている排気アダプターを排気口に差し込みます。その後排気ダクトを接続してください。

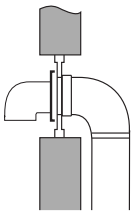
カバー（C）を外すときに本体を傷つけないように注意してください。

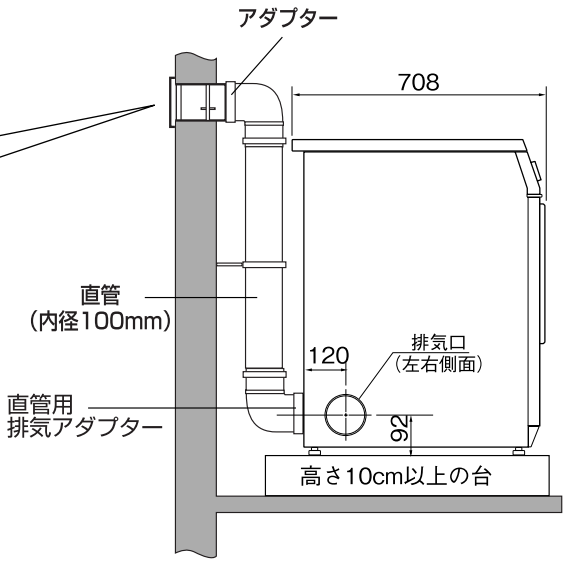
使用しない排気口には、必ずカバー（C）を取り付けておいてください。

●直管（金属管）使用の場合

一次配管排気口の処理

雨などが吹き込む可能性のある排気口には、逆流をふせぐために排気口を下に向けてください。ネットなどは取り付けず、開放としてください。

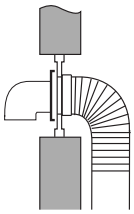


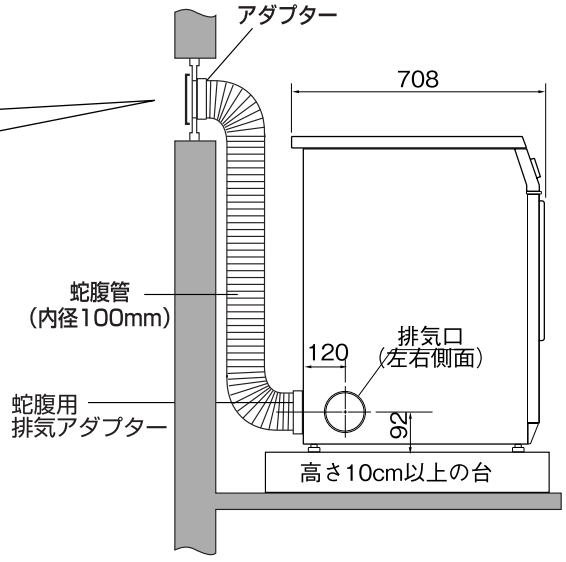


●蛇腹管（アルミフレキシブルダクト管）使用の場合

一次配管排気口の処理

雨などが吹き込む可能性のある排気口には、逆流をふせぐために排気口を下に向けてください。ネットなどは取り付けず、開放としてください。



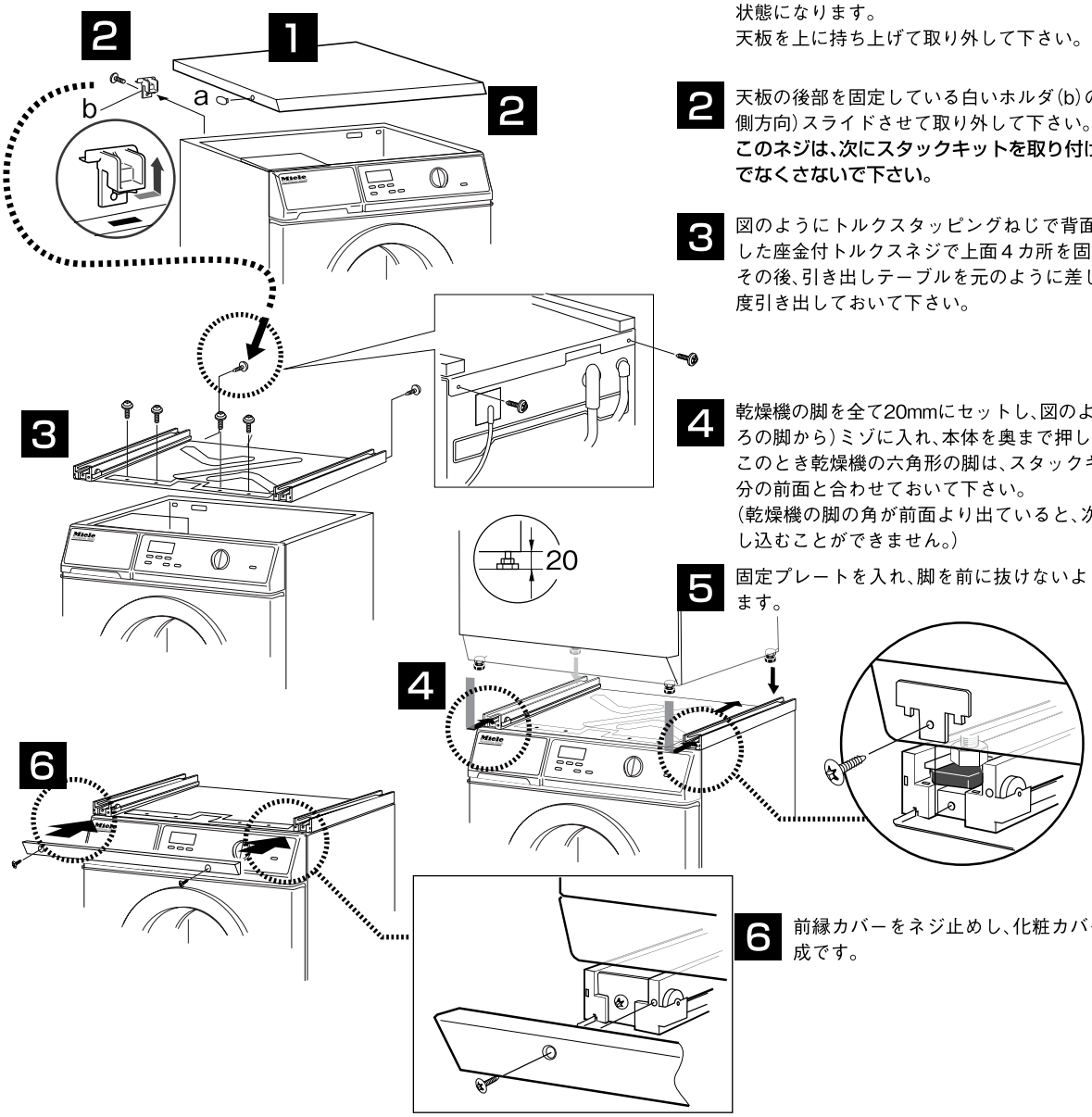


STEP 4 2段積み設置の方法

■2段積み設置　WTV5062

※トルクスレンチをご用意ください。（T20）

スタッキングキット取り付けの準備



1 天板両サイドの目隠しキャップ(a)を外し中にあるビスをゆるめ、押し込んで下さい。内部のストッパーが外れ、天板を取り外せる状態になります。
天板を上に持ち上げて取り外して下さい。

2 天板の後部を固定している白いホルダ(b)のねじを外し、横に(内側方向)スライドさせて取り外して下さい。
このネジは、次にスタックキットを取り付ける際に使用しますのでなくさないで下さい。

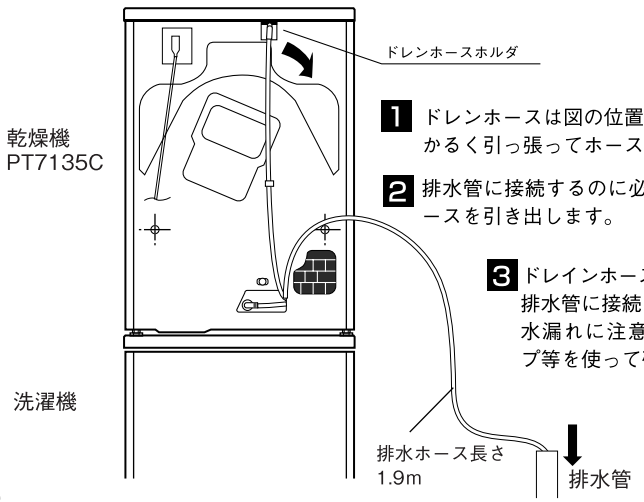
3 図のようにトルクスタッピングねじで背面２カ所、「2」で取り外した座金付トルクスネジで上面４カ所を固定して下さい。
その後、引き出しテーブルを元のように差し込み、手前に10cm程度引き出しておいて下さい。

4 乾燥機の脚を全て20mmにセットし、図のように乾燥機の脚を(後ろの脚から)ミゾに入れ、本体を奥まで押し込みます。
このとき乾燥機の六角形の脚は、スタックキットの脚差し込み部分の前面と合わせておいて下さい。
(乾燥機の脚の角が前面より出ていると、次に固定プレートを差し込むことができません。)

5 固定プレートを入れ、脚を前に抜けないように固定します。

6 前縁カバーをネジ止めし、化粧カバーを取り付けて完成です。

PT7135C ドレンホースによる直接排水



1 ドレンホースは図の位置に固定されています。
かるく引っ張ってホースを取り外します。

2 排水管に接続するのに必要な長さだけドレンホースを引き出します。

3 ドレインホースの折れ曲がりに注意し、排水管に接続します。
水漏れに注意し、接続はビニルテープ等を使って確実に行って下さい。

Miele
ミーレ・ジャパン株式会社　〒150-0044　東京都渋谷区円山町3-6　E・スペースタワー11Ｆ　電話(03)5784-0034(代) FAX(03)5784-0035